久喜市議会だより

No.2

平成22年8月15日

発行 / 久喜市議会　編集 / 久喜市議会広報委員会
〒346-8501 久喜市下早見85の3　☎0480(22)1111(代)　FAX 0480(21)6061　HP http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html

久喜提燈祭り（7/18）

菖蒲夏祭り（7/11）

鷲宮八甫の獅子舞（7/25）

くりはし夏祭り（7/17）

みなさんの写真を表紙に掲載しませんか？

地域の行事、風景などの写真をお待ちしております。
詳しくは議会事務局（Tel 22-1111内線5115）まで。

主な内容

所信表明・代表質問 …… (2) ～ (3)
提出議案とその結果 …… (4) ～ (5)
市政に対する 一般質問 …… (5) ～ (14)
委員会 …… (15)
陳情 …… (16)

9月定例会のお知らせ

平成22年9月定例会は、次の日程で
午前9時から開催される予定です。

月　日	内容	概　　要
8月26日(木)	委員会	議会運営委員会
9月　2日(木)	本会議	開会、議案上程
9月　8日(水)		市政に対する一般質問
9月　9日(木)		市政に対する一般質問
9月10日(金)		市政に対する一般質問
9月13日(月)		市政に対する一般質問
9月15日(水)		議案質疑
9月16日(木)	委員会	予算常任委員会
9月17日(金)		総務財政市民常任委員会
9月21日(火)		環境建設水道常任委員会
9月22日(水)		福祉健康常任委員会
9月24日(金)		文教常任委員会
9月29日(水)	本会議	討論・採決、閉会

◆「久喜市議会だより」は、森林資源保護のための再生紙を使用しています。◆

6月定例会初日に田中市長が所信表明演説（久喜市ホームページに掲載）を行い、その演説に対し、各会派から代表質問が行われました。その主な部分について掲載しました。

▲所信表明演説を行う田中市長

所信表明

市民の皆様が『久喜市に住んでよかった』『これからも久喜市に住み続けたい』と実感できる地域社会の構築を目指して、合併後のまちづくりに全力を傾注したい。

地方を取り巻く環境は非常に厳しい状況であるが、足腰の強い行財政基盤を有した自主・自立のまちづくりをめざしていくため、「やさしさ・あんしん・かいてき」の３つをまちづくり重点政策として位置づけ、諸施策の着実な推進に取り組んでいきたい。

●『子どもや高齢者にやさしいまちづくり』では、市内全小中学校の耐震化、高齢者の居場所づくりなど

代表質問

飛翔
岸　輝美 議員

問　総合振興計画と自治基本条例は同時並行的に策定が進められるようだが、両者の整合性をどう図るのか。また、新市基本計画との関係は

答　今回、同時期に策定開始となるが、両施策は本市のまちづくりの基本となるものなので、所管課の連携を密にし、整合性を図りながら取り組んでいきたい。新市基本計画の内容は、総合振興計画に包括されるものと考えている。

問　利根保健医療圏における地域医療ネットワークの推進について、久喜市医療体制等推進協議会の活用が不可欠と思われるが、市の方策は

答　地域医療ネットワークは、本市内だけで完結できるものではないので、県の地域医療連携システムを活用することで、より充実したネットワークの構築ができるものと考えている。

問　放課後子ども教室ゆうゆうプラザについて、市内全校への開校はかなりの困難を伴うと思われるが、今後長期にわたっての予算面での支援についての考えは

答　ゆうゆうプラザは久喜市の将来を担う子供達の育成や地域コミュニティづくりにとって大変有意義なものと認識しており、市内全ての小学校での開校を目指している。予算面での支援は、現在の国及び県の補助事業を活用し、引き続き実施していきたい。

代表質問

政策会議
石川忠義 議員

問　市長は４年後の市について、どのように絵を描いているのか。全国における久喜市のイメージ・位置づけをどのように考えるのか

答　基本的には「豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市」であり、農業を基幹産業として捉え、緑広がる自然環境に配慮したまちを考えている。また、地域医療と子育てにやさしいまちとして内外に発信していきたい。

問　豊かな自然環境を保全・創造・復元することが子ども達にとって必要不可欠な大人の責任である。新市における自然保護行政について、市長の考えは

答　本市は豊富な水に支えられた緑豊かな地域だが、都市化などは農地や自然環境と引き換えに実施されてきた。可能な限り、自然の保護・創造をしていくことが重要と考えている。

問　市民の雇用拡大の機会としても恒常的に大いに企業誘致を活用すべきであるが、市長の考えと計画は。また、関連産業の市内への集積が図れる企業という視点からも取り組むべきだが

答　今後の企業誘致活動に当たっては、地元からの雇用確保が図られるよう考慮して取り組んでいきたい。また、複数の基幹産業の振興が図られるよう考慮しながら、本市の発展とともに長く歩んでいくことのできる有望な企業の誘致を図っていきたい。

●『安全・安心なまちづくり』では、広域消防体制の整備や地域医療ネットワークの充実など

●『快適で活力のあるまちづくり』では、関連道路の整備や産業振興、市民と行政との一層の協働体制の推進など

人　　事

下記の人事について議会の意見を求められ、原案通り同意しました。

●久喜市教育委員会委員
早川　碩明（久喜市南栗橋11丁目）
鹿児島金衛（加須市砂原）
吉田　耕治（久喜市青葉5丁目）
小島　博子（久喜市久喜中央4丁目）
榎本　英明（久喜市菖蒲町三箇）

●久喜市固定資産評価審査委員会委員
松本　浩充（久喜市葛梅2丁目）
樋田　芳雄（久喜市栗橋東6丁目）
岡安　正一（久喜市菖蒲町三箇）
佐世　　芳（久喜市吉羽1丁目）

●久喜市固定資産評価員
矢島　　正　（久喜市中妻）

●久喜市監査委員
矢島　　隆（久喜市本町1丁目）
盛永　圭子（久喜市菖蒲町下栢間）

●久喜市公平委員会委員
鈴木　恒雄（久喜市桜田4丁目）
島﨑　和子（久喜市菖蒲町三箇）
山田　正一（久喜市中里）

●久喜市人権擁護委員
瀬田　房子（久喜市六万部）
岡野　晴子（久喜市江面）

代表質問

公明党
戸ヶ崎博 議員

問　合併に伴い、循環バスやデマンドバスなど公共交通機関に対する市民の期待は大きいものがある。これらについて、公共交通委員会で検討し前進させるべきと考えるがどうか

答　公共交通検討委員会において、路線バス・循環バス・福祉バスも含めた交通手段のあり方について総合的に検討する中で、デマンド方式の公共交通についても検討をお願いしていきたい。

問　学校の耐震化について、今年度及び残されている学校の計画は。また、新学習指導要領の全面施行に向け、具体的な方針は

答　新市の学校施設のうち、耐震補強等が必要な棟数は31棟である。ＩＳ値0.3未満の建物を優先的に実施し、27年度までには全ての学校施設の耐震化を完了したい。

問　新久喜市は三大河川の利根川を抱える市になるが、治水対策についてしっかり取り組むことが大事である。栗橋の強化堤防と、菖蒲町小林地区の36間樋管問題について取り組みを伺う

答　利根川の堤防については、堤防強化事業対策協議会等との連携を図り、地域の方との連絡・調整に努めていきたい。小林地区については、下流の隼人堀川の改修が進まないと効果が現れないため、改修の早期完成を県に強く働きかけていきたい。

代表質問

日本共産党
木村奉憲 議員

問　「三位一体」「構造改革」路線の総括は。それを踏まえ、今後何をどう変革するのか。また、国民生活を守り、雇用を確保することをどのように市政に結合させていくのか

答　国では地方主権改革を掲げ、地方の活性化に配慮した予算分配と地方分権の新たな改革に向けた方針が示されつつあり、また本市においては１市３町の合併という新たなスタートを切ったところである。今後は国での新たな施策を活用しつつ、新市の活性化につながるよう多様な政策展開を図っていきたい。

問　２年以内に統一するとなっている国民健康保険税について、市民の要望をしっかりと受け止め、今すぐ引き下げるべきだが

答　医療費の動向などから今後の必要経費を見込むため、さまざまなシミュレーションをしながら適切な税率を決定することになる。また、８月開催予定の国民健康保険運営協議会に諮問し、協議していただくことになっている。

問　平和を守り、つくり出すその決意の１つとして、「平和都市」宣言を新たに作る必要があると思うが、市長の見解は

答　新たな宣言の策定に当たっては、実行委員会組織を設けるなどして、市民の皆様との協働のもと進めていきたい。

提出議案とその結果

※付託委員会
（予）予算常任委員会　（総）総務財政市民常任委員会
（環）環境建設水道常任委員会　（福）福祉健康常任委員会
（文）文教常任委員会

○…賛成　×…反対　△…退席
飛翔……飛翔　政策……政策会議　公明……公明党　共産……日本共産党　無派……無会派

● 5月臨時会（市長提出議案）

議案番号	件　名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて【即時施行の216条例】	○	○	○	×	○	承認
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて【勤務時間、休日及び休暇条例】	○	○	○	○	○	承認
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて【職員団体条例】	○	○	○	○	○	承認
議案第4号	専決処分の承認を求めることについて【給与条例】	○	○	○	○	○	承認
議案第5号	専決処分の承認を求めることについて【税条例】	○	○	○	×	○	承認
議案第6号	専決処分の承認を求めることについて【都市計画税条例】	○	○	○	○	○	承認
議案第7号	専決処分の承認を求めることについて【国保税条例】	○	○	○	○	○	承認
議案第8号	専決処分の承認を求めることについて【保育所条例】	○	○	○	×	○	承認
議案第9号	専決処分の承認を求めることについて【指定金融機関】	○	○	○	○	○	承認
議案第10号	久喜市副市長定数条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	久喜市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	久喜市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	原案可決
議案第14号	久喜市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	同意
議案第15号	久喜市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	同意
議案第16号	久喜市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	同意
議案第17号	久喜市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	同意
議案第18号	久喜市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	同意
議案第19号	久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第20号	久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第21号	久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第22号	久喜市固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第23号	久喜市固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	同意

● 5月臨時会（議員提出議案）

議案番号	件　名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議員提出第1号	久喜市議会会議規則	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出第2号	久喜市議会委員会条例	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出第3号	久喜市議会事務局設置条例	○	○	○	○	○	原案可決

● 6月定例会（市長提出議案）

議案番号	件　名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議案第24号	専決処分の承認を求めることについて【損害賠償】	○	○	○	○	○	承認
議案第25号	専決処分の承認を求めることについて【損害賠償】	○	○	○	○	○	承認
議案第26号	平成22年度久喜市一般会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第27号	平成22年度久喜市国民健康保険特別会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第28号	平成22年度久喜市老人保健特別会計予算について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	平成22年度久喜市介護保険特別会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第30号	平成22年度久喜市後期高齢者医療特別会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第31号	平成22年度久喜市下水道事業特別会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第32号	平成22年度久喜市農業集落排水事業特別会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第33号	平成22年度久喜市土地区画整理事業特別会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第34号	平成22年度久喜市土地取得特別会計予算について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	平成22年度久喜市水道事業会計予算について（予）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第36号	久喜市名誉市民に関する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	久喜市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	久喜市自治基本条例策定審議会条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	久喜市新市基本計画推進協議会条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	久喜市総合振興計画審議会条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決

議案第41号	久喜市公共交通検討委員会条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号	久喜市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号	久喜市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第44号	久喜市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第45号	久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	久喜市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第47号	久喜市特別職報酬等審議会条例（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	久喜市税条例の一部を改正する条例（総）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第49号	久喜市場外発売場環境整備基金条例（総）	○	○	○	△	○	原案可決
議案第50号	久喜市立小・中学校学区等審議会条例（文）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	久喜市幼児教育研究協議会条例（文）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	久喜市医療体制等推進協議会条例（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第53号	久喜市健康づくり推進会議条例（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第54号	久喜市食育推進会議条例（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第55号	久喜市都市計画マスタープラン策定委員会条例（環）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第56号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第57号	彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第58号	埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について（福）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第59号	負担付き寄附の受納について（環）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第60号	久喜市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第61号	久喜市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第62号	久喜市公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第63号	久喜市公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第64号	久喜市公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	同意
議案第65号	久喜市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	同意
議案第66号	久喜市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	同意

● 6月定例会（議員提出議案）

議案番号	件　名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
意見第1号	学校施設の耐震化・改修促進を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
意見第2号	沖縄米軍普天間基地を無条件で撤去することを求める意見書	×	○1/×6	×	○	×	否決
意見第3号	政府の労働者派遣法改定案に対し、抜本的改正をもとめる意見書	×	○3/×4	×	○	×	否決

市政に対する　一般質問

田村栄子 議員（無会派）

久喜市立小中学校校舎の耐震基準にあっていない学校について

問　義務教育を受ける権利はどの子どもにも等しくあり、子どもが安心で安全な環境で教育を受けさせることを願う。現在、栗橋南小学校（児童734名）北校舎の建て替えの基本設計を実施したが、進捗状況は。また、久喜市内の小中学校34校のうち耐震基準に合わず、補強、改修を必要とする学校は幾つか。

答　今年度、改築工事に向けた実施設計を行う予定となっており、設計業務発注後、国や県等の関係機関と調整を図りながら、本市の財政状況を勘案し、速やかに改築工事が実施できるよう努力する。耐震補強を必要とする学校数は、小学校12校、中学校4校で計16校になる。

栗橋豊田地区の広島落とし大排水路について

問　土砂の堆積が見られるが、豪雨時や洪水など排水への影響をどのように考えているのか。また、水路の清掃、浚渫の予定はあるのか。

答　平成20年8月の「ゲリラ豪雨」時にも、当排水路は機能をしており、周辺への影響はなかった。

今回は影響がなかったが、最終的な流末である一級河川中川の改修促進を、引き続き県へ要望していく。また、毎年1年を通し水質調査を委託し、昨年度までの調査結果からみて、水質悪化の判定指標であるBODは環境基準値内を示し、水質が維持されている。そのため水路の清掃、浚渫は計画していない。

岸　輝美 議員（飛翔）

圏央道ＪＣＴ下空間の有効利用について

問　圏央道の工事が急ピッチで進んでいる。本年度末には、（仮称）菖蒲・白岡インターから東北高速道路までが開通し、「（仮称）久喜白岡ジャンクション」が誕生する。ジャンクション高架下の広大な空間（空き地）の有効利用を考えたことがあるか。

答　ジャンクション高架下には圏央道路上の雨水を貯留する調整池を設置しなければならない。また、区間内ランプの一部が盛土となる。さらに交通量が極めて多い幹線道路＝さいたま・栗橋線及び上尾・久喜線が通過する、等から大きな面積を確保することが出来ない事が考えられる。そのため具体的利用について現時点では検討していない。

問　広大な空き地をスポーツ・レクリエーション活動の場として市民に開放、有効活用を図るべきと考えるがどうか。

答　全国的に見て駐車場、店舗等の他、公園等に利用されている例もある。利用者の安全性の確保が図られる中で、利用可能な面積・位置・費用等も含めて、今後「東日本高速道路株式会社・ＮＥＸＣＯ」と協議をしていきたい。

要望　レクリエーション関係団体からも強い要望が出されている。ぜひ実現を目指し「ＮＥＸＣＯ」と粘り強く交渉していただきたい。

富澤孝至 議員（政策会議）

新久喜市、初の教育長の基本的な考え方を問う

問　政治的中立性及び首長からの独立した機関である教育委員会の存在は極めて重要である。

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行する以上、教育長には大変、大きな責務が課せられている。

そこで、新市の教育行政に対し、初代教育長に就任された吉田教育長の教育理念を伺う。

答　基本を一言で言えば「総合的な人間力育成」と考えている。

ロッキード事件で担当検事として捜査の指揮をとり、その後法務大臣官房長などを務め、現在ではさわやか福祉推進センター等で活躍をされている、堀田 力氏が提唱されているものと、私どもの考えていることは同じである。

学校教育に対しても、解決すべき多くの課題が指摘されている。

また、生涯学習の分野においても、歴史や文化を大切にする学習環境づくりを進めることが強く求められている。

これらのことを考えると、教育の果たす役割はますます重要であり、改めて私自身の職責の重さを強く感じている。

杉野　修 議員（日本共産党）

JR東鷲宮駅の橋上化の早期実施を

問　東鷲宮駅の「橋上化」は、旧鷲宮町住民のみならず利用者すべてが長年切望してきた地域の最重要課題である。新久喜市として今年度はどのように取り組んでいくのか。

答　22年度は「橋上化」、地下道・階段のバリアフリー化に向けて幅広く調査をしていきたい。

旧役場の有効活用を

問　旧３町の役場には職員が減り、「空きスペース」が生まれている。それはどれくらいか。また、住民参加型での積極活用を図られたいが。

答　30室、2000平米、パソコンは237台等である。本庁、支所の業務配分をみて検討する。

大雨水害対策の具体化を

問　旧鷲宮町を中心として大雨水害対策は本当に急務である。大雨でも安心して眠れるようなまちづくりを。

答　鷲宮中央１丁目は今年度に雨水排水の調査を行う。西大輪JR西側は水路の浚渫をする。鷲宮団地関連は、青毛堀の調整池の拡幅をするがその前段として道路の付け替え工事を行う。

▲JR東鷲宮駅東側

石川忠義 議員（政策会議）

不要駐車場の処分・活用を検討すべきだが

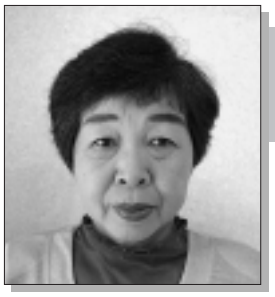
問　合併による職員の久喜市役所への大幅な移動により、旧菖蒲町庁舎・旧鷲宮町庁舎・旧栗橋町庁舎の職員用駐車場で、使わないものが発生している。旧市・町単位での、合併前後の職員駐車場台数の増減を伺う。また、使用しない駐車場用地の処分や有効利用を早期に検討すべきだが、市の見解を伺う。

答　職員駐車場の利用状況を合併前後で比較すると、旧久喜市が17台分の減、旧菖蒲町が50台分の減、旧栗橋町が30台分の減、旧鷲宮町が53台分の減である。旧久喜市分については、自動車通勤の条件見直しによって利用者が減少した。その他は、人事異動による。賃貸借契約の関係や有効利用について検討をしていく。

自立支援給付費等の不正請求事件について

問　自立支援給付費等の不正請求事件では、合併前の旧市町を合わせると総額で7727万8310円の損害を受けている。全額の返還を急ぐべきだが。

答　原因者が債務超過と思われることから、弁護士・県・関係12市町で協議して、最も効率的と考えられる債権者による第三者破産請求を行った。今は、破産管財人が選任され、破産手続きが進行している。しかし、全額久喜市の損害金に配当をあてられるものではなく、今後、他の債権者との債権額に応じて破産管財人より配当がされる。



盛永圭子 議員（飛翔）

旧菖蒲高校の跡地利用計画について・他

問　旧県立菖蒲高校の跡地について、その利用計画を市はどのように考えているのか伺う。

答　跡地利用については合併前の旧菖蒲町において検討委員会を設置し、その答申を基に要望書としてまとめ、平成21年度に埼玉県（教育局）へ要望した。その内容は

1. 県の施設を設置すること。
2. 民間等への処分の際には、高等教育機関や高齢者福祉施設を検討する。
3. グラウンドの市への譲渡、体育館及び格技場の市への無償貸与など、新市で引き続き要望書の内容が実施されるよう埼玉県に働きかける。

問　圏央道インターチェンジ・パーキングの名称について市はどう考えるか。仮称「菖蒲白岡インターチェンジ」、また菖蒲町栢間地区にできるパーキングエリアの名称について仮称の名前を生かしてほしい。

答　久喜市としては、東北自動車道に「久喜インター」があり、東北自動車道と圏央道のジャンクションの予定名称が「久喜白岡ジャンクション」であることから新たなインターチェンジの名称は高速道路利用者にとって分かりやすく、また地元のアピールに繋がる良いネーミングになればと考えている。菖蒲町栢間地区に設置予定のパーキングエリアの名称についても同様に考える。

内田　正 議員（政策会議）

除堀地区産業廃棄物焼却炉の営業について

問　当施設は、操業当初から県の勧告指導を受けるなど、問題の多い施設である。昨年6月の市民懇談会においても、同施設への苦情が地元の方から寄せられている。当局は現状をどう認識しているのか、市と県は昨年の市民懇談会の後にどのような対応・指導をしたのか伺う。

答　当該施設は、建築廃材などから発生した木くずを焼却処分する施設として操業された。昨年の市民懇談会で、夜間にも悪臭がするという情報があり、平成21年6月30日に施設に立入調査を行った。その際、悪臭は確認できず、また責任者からは夜間に焼却作業は行っていないとの返答であった。その後も悪臭の苦情があるたび、施設に立入り、埼玉県東部環境管理事務所と合同で調査を実施。平成21年11月には、埼玉県東部環境管理事務所より、事業者に対し、産業廃棄物の保管状況を改善するよう勧告が出された。以降、埼玉県東部環境管理事務所では、月2回程度立入調査を実施し、改善状況を確認している。市は、投入物の分別状況や勧告内容から、当該施設に起因する悪臭の可能性があると認識。今後とも定期的なパトロールの実施や市民からの通報、苦情に基づく当該施設への立入調査、指導などを県と協力、連携しながら実施したいと考えている。

石田利春 議員（日本共産党）

栗橋・鷲宮・菖蒲地域にも循環バスを

問　久喜市内を走っている循環バスを、廃止せず、菖蒲、鷲宮、栗橋地域にも拡げるべき。市民の願いは切実で、新久喜市が一体感のある街にもつながる。市民の願いをどう受けとめるか。

答　アンケートなどもとり、公共交通検討委員会で、検討をすすめていく。

スポーツ少年団など利用料は無料に

問　ボランティアの方々でささえられているスポーツ少年団やボーイスカウトなどが、小学校の体育館や運動場を利用した場合、新たに使用料や電気料など負担増となっている。教育的観点からしても、無料にすべき。負担公平の原則をはずしても市民の理解は得られると考えるが。

答　負担公平の原則に立ち徴収している。1/2の減免措置をしている。

後期高齢者医療保険制度に移行後も助成を

問　後期高齢者医療保険制度へ移行すると、保養所及び人間ドックなどの補助がなくなるのは何故か。国からも特別調整交付金が出る。ただちに補助を実施すべき。

答　何とか助成を考えていこうと、今検討しているところである。

渡辺昌代 議員（日本共産党）

国民健康保険税の引き下げについて

問　旧久喜市議会において国保税引き下げを要求してきた。日本共産党が行った市民アンケートでは、７割近くの方が引き下げを望んでいる。資格証の発行件数、滞納者数の現状から見ても、健康と命を守る施策をするべきである。

答　国保制度は相互扶助であり、保険者として、国民皆保険制度を維持、運営しなければならない。また、高齢者、低所得者の割合や、医療費の増加により厳しい運営から、引き下げは困難である。

問　同規模の自治体と比べ久喜市の税額は高い。一般会計繰入金は、旧久喜市が特に少ない。1990年以降、家庭の所得は下がり、保険料は上がり続けている。このことが保険料を払えない状態を生み、保険証の取り上げにつながっている。保険料を引き下げるべきだ。

答　それぞれの実情により違うので高くはない。法定外繰り入れは、社会保険の二重払いの懸念もあり、市全体の財政状況から総合的に判断するべきだ。

要望　国保は相互扶助ではない。‘58年に制定された国保法の中では社会保障である。憲法に基づき、国民の権利として医療を国が保障するのはあたり前である。国保が大変な時、国・市が考えるべきである。【その他の質問】◇久喜市も独自の少人数学級を実施すべき◇ヒブワクチンと子宮頸がん予防ワクチン接種に公費助成を

木村奉憲 議員（日本共産党）

子ども医療費無料化のさらなる改善を

問　今年1月から旧久喜市で通院は小学校卒業まで無料化が拡充されたが、多くの県内自治体では通院は中学校卒業まで実施している現状を踏まえ、さらに改善すべきだが。

答　合併で旧3町も通院の支給対象年齢の拡充を図ったが、厳しい財政状況を見ると拡充は厳しい。

久喜総合病院の現状と地域医療連携について

問　来年春の開院をめざして、進捗状況と医師などの確保状況と地域医療連携の基本は。

答　5月現在71％の進捗、11月末に工事完了予定。医師は最終40人で、現在30人のめど、看護師は最終236人で、開院時80％の稼働率で180人予定だが、確保に向け努力中。地域医療連携は、利根保健医療圏の中で、県の地域医療再生計画に基づいて地域医療完結型の医療を目指す。

国保税の1人当たり1万円の引き下げを

問　高い国保税の市民生活への影響は大きく、深刻だ。滞納者をなくすためにも、一般会計からの繰り入れを増やし、1人1万円引き下げるべきだ。

答　短期保険証は435世帯、資格証明書は102世帯。低所得者層に滞納は多い。税率を下げることについては、2年以内の調整方針でいろんな角度から検討し、対応していきたい。

松村茂夫 議員（飛翔）

県内トップレベルの医療エリアになるために

問　済生会、厚生連の２大病院を核とした補完と連携は、どうありたいと考えるか。

答　久喜総合病院、済生会栗橋病院という２つの総合的中核病院と、新市における医療機関との紹介・逆紹介により双方の医療情報を共有することや、中核病院同士でお互いの医療を補完し合うことにより、質の高い医療の提供と安全性が図られていくことになるのではと考えている。

問　病院間、診療所間、病院診療所間の連携についてはどうか。

答　これまでどおりの病病、病診連携とあわせて診診連携についても充実されるよう、医療機関等と調整を図っていきたい。

問　行政が果たせる役割は何だと考えるか。

答　まずは、かかりつけ医の重要性や医療機関へのかかり方、救急時の対処方法などについて市民への周知を図るとともに、市内の医療機関の連携を図れる情報の共有についても検討していきたい。

問　市民の役割をどう考えているか。

答　市民の方が気楽に安心して質の高い医療を受けることができるよう、切れ目のない医療の提供を受けるためには、かかりつけ医を持ち、安易な時間外受診をしないなど、医師との信頼関係を醸成することが市民の役割と考えている。

齋藤広子 議員（公明党）

ファミサポの市の取り組みについて・他

問　新市の今後のファミリーサポートの設置の時期と役割に対しての市の取り組みを伺う。

答　子育ての相互援助活動の促進を図るため、早期に事業を開始できるよう努めてまいりたい。

問　選挙の投票所の駐車場について、投票所により近い所に障がい者用の駐車場を作るべきと考えるがどうか伺う。

答　有権者の方が安全、安心して投票できるように努めてまいりたい。障がい者の方が利用できるように、工夫して対処してまいりたい。

問　野久喜地区、新幹線の下、野久喜水管橋の横の橋の幅の改善について伺う。（市道7006号線）

答　現時点においては、橋の拡幅整備や橋梁のかけかえは、費用の面から具体的な計画に至ってないが、橋梁部へのすりつけ舗装をするとか視覚的な誘導をするとか、立て看板等を設置するとか、注意を促すような措置を考えていく。

問　学校、施設のスポーツ用具の安全点検について伺う。

答　先進事例を調べてみて、関係課と連携を図りながら、必要であれば考えて、検討してまいりたいと考える。

▲2010参議院選挙久喜工業高校にて

宮﨑利造 議員（飛翔）

職員の研修について

問　久喜市は、合併により4市町の職員が一体となって市の事務に当たっており、働く中で意識の違いがあると思われる。そこで、職員の資質の向上と諸問題の解決能力の向上のため、専門家を招き職員の研修が必要と思うが、市の考えを伺う。

答　合併により、これまで違う組織で働いてきた職員が仕事をする中、組織風土等の違いから、問題意識や注意力の視点の違いなど、多くの職員が認識しつつある。専門家を招いた研修は、このような時期に有効な研修であると思われる。今後、職員研修を初め、さまざまな取り組みを通じ、機会をとらえて資質向上と問題解決能力の向上に努めたい。

問　住民の要望に的確かつ迅速に対処するために、所属長などの中間管理職が常に問題意識を持つことが必要である。そこで、管理職を中心とした研修が特に必要と思うが、市の考えを伺う。

答　市の業務はより専門的な知識や技能の習得が求められている。管理職の研修は、2市2町共同研修会において管理職を対象としたリスクマネジメント研修を予定。また、彩の国さいたま人づくり広域連合自治人材開発センターでは、課長補佐級、課長級、部次長級に昇格した職員を対象とした研修を予定。該当する職員を派遣することで今後も管理職の問題意識の向上に努めていきたい。

上條哲弘 議員（飛翔）

総合支所の有効利用について

問　合併後本庁では、ほとんどの部署が非常に窮屈な思いで毎日の業務に従事している。一方、総合支所となっている旧菖蒲、栗橋、鷲宮の旧役場には空き室が多く、今後の有効利用が課題となっている。総合支所の有効利用について具体的な考え方を伺う。

答　合併に伴い、各総合支所の執務スペース等に余裕が生じた。通常業務が落ちついてきたことから、状況を見きわめながら、各所属長に対しヒアリングを行い、本庁舎と総合支所との業務の分担を含め、所管事務の研修を行いたい。余裕スペースの有効利用等については今後時期を見て検討していきたい。

問　総合支所にある備品の管理、活用については。

答　システムが古く、リサイクルを前提とした売却及び廃棄処分予定のパソコンが237台ある。パソコン教室での使用のため、公民館で使用できるものは、データ消去後に有効利用を図る。机やいすなどの備品は、新市全体の中で他の施設、部署での有効利用や予備としての保管など、利用目的に応じ、検討会議を設けて余裕スペースの有効利用の検討とあわせて協議する。

▲鷲宮総合支所

猪股和雄 議員（政策会議）

身障者用駐車場利用証制度の実現を

問　「高齢運転者等専用駐車区間制度」が4月に始まったが、市内に専用駐車区間の設置を進めるべき。市民に警察への申請について周知をはかるべきだ。

答　専用駐車区間の設置を警察と協議する。駅西口付近、中央公民館周辺や青葉公民館周辺などが考えられる。市民に広報などで周知していく。

問　公共的施設の身障者用駐車場を、身障者や高齢者、妊産婦などが使いやすくするために、「利用証」を発行する制度を早期に導入すべきだ。

答　実施に向けできるだけ早く調整を図っていく。

【その他の質問】◇障害者自立支援費の不正請求事件の損害金回収、久喜児童クラブの不透明経理による補助金返還の見通しは。◇2011年度の予算編成過程の公開を進めるべき。◇市役所庁舎のごみ減量計画を進めるべき。◇久喜地区小中学校の給食食器の改善は夏休み明けに実現できるか。旧3町地区の食器も強化磁器製に切り替えるべき。◇市内の学童保育の一元化をどう進めるか。保護者との協議を。

▲川口市おもいやり駐車場

春山千明 議員（政策会議）

久喜市内小中学校の学期制について

問　平成22年度は旧市町で行われていた学期制のままスタートをした。教育委員会では2学期制への統一を前提に検討をしていくのか伺う。

答　2学期制への統一を前提とはしていない。統一に向け（仮）学期制検討委員会を立ち上げ、保護者、学校の意見を参考に慎重に検討していく。

問　久喜市での2学期制、3学期制それぞれ課題があるが、統一する場合には児童・生徒、保護者、教員に対し十分な説明をし、理解を得る努力をするべきと考えるがいかがか伺う。

答　統一については2学期、3学期制ともメリット、デメリットがあり、子どもや保護者の情的なものもあるので、拙速を避け時間をかけながら十分理解が得られるような形で進めていく。

全国学力調査を今後実施すべきだが

問　今年度市内の全ての小中学校で実施できなかった全国学力調査だが、学力の実態を把握、検証し指導の改善、向上にいかし子どもたちに確かな学力をつけさせるために今後実施していくべきだが。

答　今年度は埼玉県学習状況調査と3つの達成目標の効果と検証を統一的な学力テストとしてとらえている。来年度以降の参加は国、県の動向をみながら校長会の意向をもとに子どもたちの学力の向上を図り、保護者の信託に答えられるよう検討していく。

矢﨑　康 議員（公明党）

高柳交差点について・他

問　高柳交差点の安全性と住民の利便性の向上についての考えは

答　県では、暫定的な2車線の国道125号線、栗橋・大利根バイパスの整備を進めている。（8月ごろから用地補償交渉し22年度から3カ年かけて）しかし、当分の間は危険な状況は変わらないことから、ドライバーの進行方向等をよりわかりやすく示す路面表示や案内標識をカラー化する工事を検討している。

問　バイパスが出来ることによって他の影響は。

答　車が減少するには時間がかかるということで斜めになっている交差点だから、直角か小さくコンパクトな交差点にするような検討をしていると思う。

問　高齢者の運転免許証自主返納者に、住基カードの無料交付を

答　白岡町等が実施している。出来るだけ早期に導入していきたい。

問　子宮頸がんワクチンの公費助成についての考えは。

答　国県の動向を見守り、助成は考えていない。

要望　検査の種類で、細胞診とHPVをあわせた費用対効果を考え、効率的な受診体制を研究していただきたい。また地域医療整備計画の利根医療圏において検診できるような体制を整えてほしい。

園部茂雄 議員（政策会議）

東鷲宮駅橋上化計画について・他

問　東鷲宮駅の東口からの利用者の利便性とバリアフリーの観点から東鷲宮駅橋上計画を鷲宮町でおこなっていたと思うが、その事業概要を伺う。

答　平成11年に橋上化の調査を実施、事業概要は駅舎（12億）と自由連絡通路（6億）を合わせて18億円の事業費の算出がされていた。

問　今後の久喜市としての事業計画を伺う。

答　今年度1千万円で駅とその周辺のバリアフリー化の調査設計業務委託、その調査結果を勘案して駅橋上化を検討していく。

問　現在の地下通路の両側にエレベーターを設置することで早期にバリアフリー化が実現可能では

答　様々な提案を含め総合的に調査する。

【その他の質問】◇鷲宮南部開発の整備状況◇学校安全メール◇総合支所の有効利用

▲JR東鷲宮駅

大鹿良夫 議員（飛翔）

利根川堤防強化事業の対策について・他

問　利根川は、昭和22年、カスリーン台風による大洪水によって首都圏に甚大な被害をもたらした。国は、深谷市から五霞町地先までの23.5kmを平成25年までに改修する計画である。栗橋地区230件の方々は用地買収を求められている。市は、国・県に対し、どのような協力をするのか。

答　230件の方々の移転に関し、不安や不満の感じることが無いように国や県と密に連絡をとり、事業に支障を来たさないように調整を図る。

問　関係住民への用地買収、補償交渉、生活再建は。

答　用地買収は、平成21年度で23件、今年度は80件を見込む。この契約が実現すれば4割となる。補償交渉は、ほぼ全地権者へ伺ったが高齢の方も多く、借地、借家での移転に不安を感じている方もいる。市は、権利者全員にスムーズな生活再建を第一に考えていただけるよう国に強く要望していく。

問　市道栗橋680号線の整備について

答　JR宇都宮線の東側を東西に結ぶ幹線と考える。新市全域の道路網の整備や土地利用の指針となる都市計画マスタープランに位置づけ、都市計画決定を目指し県補助金も導入しながら整備したい。若干の時間がかかるので待避所について対応していく。

▲堤防強化事業完成予想図

戸ヶ崎博 議員（公明党）

下肢静脈瘤の予防のために

問　下肢静脈瘤の治療又予防のために、医療用の弾性靴下は必要なものとなっている。年間では相当な枚数が必要で又高額でもある。助成はできないか。

答　平成20年4月1日からは悪性の腫瘍の手術後に医師の指示に基づき購入した場合のみ、療養費として支給が認められている。下肢静脈瘤の弾性靴下の購入については現在のところ療育費としての取り扱いは出来ないものとなっている。又市独自の助成も治療に必要なものと明確になっていないので現段階では考えていない。

信号機の設置と改善について

問　上早見地内、千勝神社前の現在工事している杉戸久喜線との交差点に信号機の設置を。

答　計画ではここは信号機の設置は予定されていないが、地域から信号機の設置を望む声があり今年5月12日に久喜警察署に信号機の設置の要望書を提出し、お願いしたところである。

問　菖蒲町寺田地内の信号機には歩行者用がないので、特に子供等は危険である。改善を。

答　安全のために歩行者用信号機については要望をしてきたが、引き続き要望していく。

岡崎克巳 議員（公明党）

公共施設のLED化について

問　公共施設LED化推進計画を立てるべきだが。

答　LED照明は、従来の蛍光灯と比較すると、長寿命で、しかも約50％の省エネルギー効果が見込まれるなどメリットはあるが、価格が高いというデメリットもある。また、二酸化炭素の大幅な削減効果があると期待されている。基本的には公共施設を新築する場合や既存建物を大規模に改修する場合、また非常灯などの照明器具の老朽化に伴い交換する場合などの機会にLED照明の導入を検討していきたいと考えている。現在のところ公共施設のLED化推進計画については作成する予定はないが、基本的な考えに沿って進めてまいりたい。

問　行政区のLED防犯灯の設置を積極的に推進してはどうか。

答　2月議会で、岡崎議員よりLEDの防犯灯に切りかえていくべきとの質問をいただいた。検証するため、平成22年2月に試験的にLEDの防犯灯を設置し、その後地域の皆様の声を伺ったところ、好評である。寿命が長く、消費電力も大幅に削減されることから、LED防犯灯への切りかえを進めていきたいと考えている。まずは新規設置の防犯灯からということになるが、以降切りかえに関しては経費等も勘案し、地元の皆様のご理解をいただきながら推進してまいりたいと考えている。

鈴木松蔵 議員（飛翔）

下水道整備について

問　①下水道整備計画は「3年以内に統一」となっている。統一までの行程は。②現在の状況は。③下水道の使用料統一、受益者負担金、集落排水事業の統一、集落排水使用料の調整は。④計画区域であり、調整区域である地域に公共下水道を整備することについて。

答　①今年度の公共下水道の整備は、合併前の旧1市3町でそれぞれ計画した箇所を整備する。平成23年度は整備を進めながら、あわせて新久喜市の下水道整備計画を策定するための業務委託を実施していく。平成24年度上半期には、久喜市下水道・農業集落排水事業運営審議会への諮問、答申を経て、新久喜市の下水道整備計画を策定し、平成25年度から新たな整備計画に基づき、事業を進める。②新市の全体状況は、普及率68.34％、新久喜市全体の事業認可面積は2020.2ヘクタール、整備面積は1694.2ヘクタール、整備率83.86％。③本年9月を目途に審議会の諮問を行い、検討し、平成24年7月答申を受け、9月定例会に条例改正案を上程する。④公共下水道、合併処理浄化槽の設置を進める。下水道整備と土地利用は密接な関係であるが一致させることは求められていない。計画区域の縮小は、県が策定した古利根川流域下水道事業に影響を及ぼすことから、現在のところ考えていない。

鈴木精一 議員（飛翔）

市税見通しと行革について

問　新市の税収見通しは。

答　昨年度は、旧1市3町で市税の減額補正を行った。今年度中の税収増は期待できない状況だ。

問　無駄の徹底的な洗い出しと改善を図るには行政視点だけでは効果が薄い。事業仕分け、トータルコスト予算編成を行うべき。

答　事業仕分けは平成19年に行った。再実施等は、行政改革大綱を3年以内に策定するので、その中で事業仕分け、トータルコスト予算編成を検討する。

問　行革は早急な課題だ。事業仕分けを大綱に位置付けないと実施は無理というのは理解できない。

答　大綱の策定は、これまで3年以内としていたが前倒しで行う。事業仕分けという名称ではないが、行政視点で同じようなことはやっている。事業仕分けを必ず実施する必要があるとは考えていないが、大綱の中に位置付けて実施していく考えだ。

問　では、大綱の中に事業仕分けを位置付ければ実施するということでよいか。

答　合併して新市ということなので、検討してまいりたい。

確認　検討でなく、大綱に位置付けたら実施をすると答弁したのだから、実施すべきだ。

田島行雄 議員（飛翔）

鷲宮南部ショッピングセンターの進捗状況について

問　出店店舗の内容について。

答　商業施設は2棟で、合計店舗面積は5万6880平方メートル。入居は、株式会社イトーヨーカ堂系列で、食品、衣料品、住居関連商品等、その他の小売店舗約150店舗で食品、衣料品、スポーツ用品等である。現在ショッピングセンターの建設が遅れており、入居店舗の募集も行っていないため、出店店舗の内容は確認できていない。

問　周辺道路の整備状況は。

答　周辺道路の久喜30号線及び市道鷲宮17号線は、予定どおり平成20年7月末には完成する予定と開発者から伺っている。これらの道路の開通見込みは、施工承認による工事の完了検査後、道路の開通に向けた警察署、公安委員会の確認がとれしだい開通予定。なお、市道久喜20号線及び市道鷲宮84号線は、現在のところ用地買収において1件ずつ未契約者の方がいるため、道路の完成の目途は、この未契約の土地売買契約書締結後7カ月を要するものと開発者から伺っている。その後、開通に向けた手続が済みしだい開通をする予定である。

▲鷲宮南部ショッピングセンター予定地

梅田修一 議員（飛翔）

「らき☆すた」事業の発展的継続について

問　「らき☆すた」事業の発展的継続を図る必要があると考えるが、当局の考えを伺う。

答　地域振興の観点から、今後も商工会を通して支援、協力してまいりたい。

問　特別住民票の発行が今後第３弾という形で可能なのかどうか伺う。

答　発券元の会社、鷲宮地区の商工会、それから市民の大きな理解が必要であり、十分な時間をかけて協議をしていきたい。

問　以前の特別住民票の発行の経費がどのような形でとらえられているのか伺う。

答　ファイル、領収書、住民票、印刷、ポスター等、総額では約281万5000円の経費がかかり、売上げが727万4240円。差額が町の収入となっている。そのお金は鷲宮地区内の商店街の街路灯の整備に充てている。今後、行った場合、入った収入すべてを商店街につぎ込むのも難しく、他の事業への充当も考えられるということだけはご理解いただきたい。

問　行政のトップである田中市長の「らき☆すた」事業に対する理解が不可欠である思うが、いかがか。

答　大変すばらしいものと思っている。行政として商工業者の皆さんとともにまちおこしについて協議を重ねながら、まちづくりの一環として支援させていただきたい。

足立　清 議員（公明党）

東鷲宮駅東西連絡通路をバリアフリー化に

問　東西連絡通路のバリアフリー化は、駅舎橋上化とも深く関わっている。東口橋上化実現においても、東西連絡通路を利便性の高いバリアフリー化を進めるべきだが、市の考えはどうか。

答　今年度実施を予定している駅周辺のバリアフリー化調査結果を基に、東西連絡通路のバリアフリー化を検討したい。

路線バスの運行計画を拡大すべきだが

問　現行の路線バス（循環バス）運行計画の拡大を求める市民の要望を多く頂いている。公共交通空白地域の解消が必要と考えるが市の考えは。

答　市民にとって身近な交通手段である路線バスの拡充は、大変重要と認識している。路線バス事業者に対し路線拡充を要望する。

鷲宮駅東口に銀行窓口業務の再開を

問　身近な金融機関として、埼玉りそな銀行を利用している方が多く、近年の住宅開発に伴い人口が増加しており、銀行窓口業務の必要性が求められている。市としても積極的に働きかけるべきだが。

答　埼玉りそな銀行と話をさせて頂いた。人口規模･顧客の動線･経営の効率・また収益性等を考慮し、窓口業務の必要性を判断しているとの事である。桜田1･2丁目の人口も相当増加していることから、強く要望する。

大谷和子 議員（飛翔）

新市での子育て支援情報誌について

問　合併して新久喜市となった現在、新久喜市の子育て情報として、市内全体の情報を少しでも早く発信していただきたい。次世代計画の中でも内容を更新しながら引き続き提供するとなっているが、情報誌の発行について、情報誌は各地域版での発行か、市全体版での発行か。また、製作はどこが行い、内容はどのようなものになるか。

答　子育て支援情報誌は、子育て支援に関する各種制度や情報の提供を行い、子育て中の保護者の利便を図るとともに、窓口における各種相談や乳児家庭全戸訪問の際に活用してまいりたい。内容は、各種の子育て支援サービスを紹介する関係上、市内全域を対象とした内容での作成を考えており、作成に当たっては、子育て支援課が中心となって編集し、手づくりで作成する予定。市内の子育てネットワークの皆様にもご相談をさせていただき、ご意見やご協力をいただきながら作成したい。

【その他の質問】◇子育てサポーター育成事業について
◇子育てネットワークづくりについて
◇学童保育について

▲旧鷲宮町子育てガイドブック･ガイドマップ

井上忠昭 議員（飛翔）

医療問題について ～久喜総合病院について～

問　医師、看護師など医療従事者の人員確保の状況と課題について。特に、柱に据えた救急とがんは…

答　医師は、約30名はめどが立っており、さらに増員の見込みはあるとのこと。看護師は、さまざまな方法で募集を行っているが、看護師不足で厳しい状況と聞いている。市も募集記事掲載などで支援をしている。救急は2名の専門医が確保され、他の医師等と対応することで、2次救急、24時間の受け入れは可能であり、がんについては開院時に基本構想に明記された標準的ながん治療の提供が実現できるよう、要請を続けてまいりたい。

問　捉え方だが、開院を来春に控え、人員についてこれだけ集まったと見るか、これは大変だと見るかがある。救急などは特に、2次以上のものをめざすなかで、無理な医師の勤務体制が医療崩壊などを起こしている現実を考えれば、あらためて体制に関し、市の認識を伺いたい。

答　2名の救急医と、内科系、外科系の医師の組み合わせで、24時間受け入れは可能とのこと。引き続き救急医派遣依頼をしている。救急医療については他の診療科の医師や、場合によっては他の医療機関との連携を図って充実に努めてまいりたいとのこと。

委　員　会

●6月定例会では、31件の議案がそれぞれ所管の委員会に付託され、審査が行われました。そのうち、一般会計予算についての審査の概要を掲載しています（他の議案は審査結果のみの掲載です）。

予算常任委員会

●平成22年度久喜市一般会計予算　可決

（歳入）

問　団塊世代の退職による個人市民税の減額をどのように見積もっているか

答　約2億8000万円の減収で見積もっている。

問　軽自動車税の増加をどのように見込んでいるか

答　22年度当初は4万1687台の課税であり、前年比で798台の増である。

問　地方交付税について、合併協議の中で出された数字と、今回の予算で計上された額とが異なっている理由は

答　合併協議の際の動向と、その後の地方財政計画等の動向との差が出ており、時間的な差と考えている。

問　生活保護の関連事務が移管されることによる地方交付税への影響額は

答　基準財政需要額に上乗せした見込額になるが、旧菖蒲町分で7145万6000円、旧栗橋町分で1億1471万2000円、旧鷲宮町分で1億3060万円である。

問　市立保育園保護者負担金の積算根拠は

答　21年10月1日の児童数370人×平均保育料1万8200円×12ヵ月×徴収率98%＝7919万1000円である。

（歳出）

問　集会所維持管理事業で、点検業務の内訳は

答　消防設備点検であり、総合点検が1回、機能点検が1回の合計年2回である。

問　超低床ノンステップバス導入促進事業補助金について、対象台数は

答　4台を予定している。

問　ボートピア栗橋環境整備協力費活用事業で300万円の補助金が計上されているが、この内容は

答　栗橋まちづくり協議会への補助金であり、運営費の補助や自主事業への経費である。

問　防犯灯の電気料について、785万2000円の積算根拠は

答　2000円×3926灯である。

問　住居表示街区表示板整備業務委託688万7000円について、どの地区にどの程度の枚数となるのか

答　旧久喜地区が45街区、100枚。旧菖蒲地区は該当なし。旧鷲宮地区が32街区、70枚。旧栗橋地区が136・44・39の計219街区、483枚である。

問　社会福祉協議会運営費補助金1億3575万円の内訳は

答　旧久喜分が5330万1158円、旧菖蒲分が2462万2000円、旧栗橋分が2370万250円、旧鷲宮分が3413万941円。全額人件費分である。

問　障害児（者）生活サポート補助事業の積算根拠は

答　旧久喜分が225万5000円、旧菖蒲分が185万3000円、旧栗橋分が104万5000円、旧鷲宮分317万円、合計で832万3000円である。

問　生活保護の扶助費の積算根拠は

答　旧久喜分が6億9710万2320円、旧菖蒲分が2億4330万9180円、旧栗橋分が2億8590万8767円、旧鷲宮分5億2240万6882円、合計で17億4872万8000円である。

問　病院建設補助事業の総額はいくらか。また、市の負担分の計算は

答　4年間で35億8000万円の補助としている。病院整備事業補助金要綱に基づき、病院用地の取得事業・病院施設等の建設事業・医療機器等の整備事業・総合病院の周辺施設の整備事業に関わる経費について、年度ごとに事業計画書等を添付させて申請を受け、年度末に実績報告を受けて確定している。

●平成22年度久喜市国民健康保険特別会計予算　可決
●平成22年度久喜市老人保健特別会計予算　可決
●平成22年度久喜市介護保険特別会計予算　可決
●平成22年度久喜市後期高齢者医療特別会計予算　可決
●平成22年度久喜市下水道事業特別会計予算　可決
●平成22年度久喜市農業集落排水事業特別会計予算　可決
●平成22年度久喜市土地区画整理事業特別会計予算　可決
●平成22年度久喜市土地取得特別会計予算　可決
●平成22年度久喜市水道事業会計予算　可決

総務財政市民常任委員会

●久喜市名誉市民に関する条例　可決
●久喜市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例　可決
●久喜市自治基本条例策定審議会条例　可決
●久喜市新市基本計画推進協議会条例　可決
●久喜市総合振興計画審議会条例　可決
●久喜市公共交通検討委員会条例　可決
●久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例　可決
●久喜市長職務執行者の給与及び旅費に関する条例を廃止する条例　可決
●久喜市特別職報酬等審議会条例　可決
●久喜市税条例の一部を改正する条例　可決
●久喜市場外発売場環境整備基金条例　可決
●埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について　可決
●彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について　可決

環境建設水道常任委員会

●久喜市都市計画マスタープラン策定委員会条例　可決
●負担付き寄附の受納について　可決

福祉健康常任委員会

●久喜市医療体制等推進協議会条例　可決
●久喜市健康づくり推進会議条例　可決
●久喜市食育推進会議条例　可決
●埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について　可決

文教常任委員会

●久喜市立小・中学校学区等審議会条例　可決
●久喜市幼児教育研究協議会条例　可決

No.2 久喜市議会だより

陳　情

●永住外国人住民の地方自治体参政権について陳情書
　在日本大韓民国民団埼玉県地方本部団長　鄭　　平晋
●永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出を求める陳情書
　日本の子供の未来を守る会　小南摩佐子
●人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書　日本の子供の未来を守る会　小南摩佐子
●選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情書　日本の子供の未来を守る会　小南摩佐子
●子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書
　日本の子供の未来を守る会　小南摩佐子
●教育偽称化した「青毛（おおげ）」の地名を古来のオオゲ読みに戻す件について　関口　博
●（仮称）久喜総合病院の診療体制等の確認と補助金の交付について　未来工房ハッピー久喜代表　後上　民子

議会日誌

○	5月21日	代表者会議
○	5月25日	広報委員会
○	5月26日	全国市議会議長会第86回定期総会
○	5月27日	議会運営委員会
○	〃	代表者会議

議会を傍聴してみませんか

○市議会は皆さんが自由に傍聴できます。
本会議　定員50人
委員会、代表者会議、全員協議会、議会運営委員会
定員15人
○手話通訳をご希望の方は、傍聴したい日の2週間前までに議会事務局にご連絡ください。
TEL0480-22-1111
（内線5113～5114）
FAX0480-21-6061
議会のホームページでも傍聴についてご案内しています。

議会の詳細は「会議録」で

議員の発言内容を詳しくお知りになりたい方は、議会事務局、県立及び市立図書館、公文書館で「会議録」が閲覧できます。また議会のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。

なお、6月定例会の会議録は校正事務の都合上、閲覧・ホームページへの掲載は8月下旬頃になります。

平成22年6月定例会本会議出席状況

○出席　×欠席

議席番号	氏　名　（会派）	6月3日	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日	6月21日	6月23日	7月9日
1	渡辺　昌代（共産党）	○	○	○	○	○	○	○	○
2	石田　利春（共産党）	○	○	○	○	○	○	○	○
3	木村　奉憲（共産党）	○	○	○	○	○	○	○	○
4	杉野　　修（共産党）	○	○	○	○	○	○	○	○
5	梅田　修一（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
6	井上　忠昭（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
7	大谷　和子（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
8	上條　哲弘（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
9	園部　茂雄（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○	○
10	春山　千明（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○	○
11	富澤　孝至（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○	○
12	田村　栄子（無会派）	○	○	○	○	○	○	○	○
13	齋藤　広子（公明党）	○	○	○	○	○	○	○	○
14	矢﨑　　康（公明党）	○	○	○	○	○	○	○	○
15	鈴木　精一（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
16	並木　隆一（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
17	田島　行雄（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
18	鈴木　松蔵（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
19	盛永　圭子（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
20	柿沼　繁男（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
21	猪股　和雄（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○	○
22	石川　忠義（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○	○
23	新井　勝行（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○	○
24	内田　　正（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○	○
25	岡崎　克巳（公明党）	○	○	○	○	○	○	○	○
26	足立　　清（公明党）	○	○	○	○	○	○	○	○
27	戸ヶ崎　博（公明党）	○	○	○	○	○	○	○	○
28	松村　茂夫（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
29	青木　信男（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
30	宮﨑　利造（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
31	大鹿　良夫（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
32	山田　達雄（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
33	岸　　輝美（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○
34	鎌田　忠保（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○	○

広報委員会委員

◎大谷和子　○園部茂雄
石田利春　井上忠昭
田村栄子　齋藤広子
盛永圭子　柿沼繁男
猪股和雄　山田達雄
鈴木松蔵
（◎委員長　○副委員長）

本会議傍聴者数

6月　3日（所信表明、議案上程）	12人
6月15日（代表質問）	23人
6月16日（一般質問）	26人
6月17日（一般質問）	31人
6月18日（一般質問）	18人
6月21日（一般質問）	40人
6月23日（議案質疑）	8人
7月　9日（討論・採決）	4人
合　計	162人

委員会傍聴者数

5月27日（議会運営）	0人
6月24日（予算）	0人
6月28日（予算）	2人
6月29日（予算）	2人
6月30日（総務財政市民）	2人
7月　1日（環境建設水道）	1人
7月　2日（福祉健康）	4人
7月　5日（文教）	1人
合　計	12人

編集後記

梅雨明け以降、連日の猛暑が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

新生・久喜市初の定例議会が開かれ、市長の所信表明、そして代表質問、審議議案では平成22年度予算関係や人事案件などが提案され、37日間にもおよぶ長丁場の6月議会でした。

また、一般質問には28人の議員が質問に立ち、地域や市民の思いや願いを取り上げ、新市への期待と希望に対する思いの丈が伺える議会でした。

私たち広報委員会は、今後もより良い、また、市民の皆様に関心を持っていただける議会だよりの発行に努力してまいります。皆様からのご意見、ご要望等お寄せいただければ幸いです。

また、皆様の議会への傍聴をお待ちしております。（園部）

◆コスト表示…平成22年度の久喜市議会だよりは、1部当たり9.55円で製作しています。